

4月19日「食品に関するリスクコミュニケーション(米国産牛肉輸入問題に関する意見交換会)」(広島会場) アンケート集計表

出席人数: 106 有効回答: 53 回答率: 50%

問1 あなたはどのような立場で参加しましたか。

	1 消費者団体	2 食品関連事業者(団体を含む)	3 生産者(団体を含む)	4 主婦	5 学生	6 無職	7 地方自治体職員	8 国家公務員	9 その他	* 未記入
問1	7	5	6	1	0	10	13	6	5	0
	労働組合団体 会社員 環境NGO									

問2 本日の意見交換会の開催を、どのような方法で知りましたか。

	1 厚生労働省・農林水産省のHP(報道発表資料)、配布物	2 厚生局・農政局のHP、配布物	3 農政事務所のHP、配布物	4 その他の行政機関のHP、配布物	5 メールマガジン	6 新聞、雑誌等	7 所属団体からの連絡	8 その他	* 未記入
問2	13	5	11	1	0	9	15	0	1

問3 開催を知って何日後に参加することを決めましたか。

	1 (3日以内)	2 (4日～7日)	3 (8日～11日)	4 (12日～15日)	5 (16日以上)	* 未記入
問3	38	8	4	0	1	2

平均日数: 2.8 日

問4 前半に行った行政からの説明についておたずねします。

問4 - 1 説明内容について理解できましたか。

	1 理解できた	2 おおむね理解できた	3 どちらでもない	4 あまり理解できなかった	5 理解できなかった	* 未記入
問4 - 1	8	33	7	3	1	1

問4 - 2 提示したスライド資料の内容はわかりやすかったですか。

	1 わかりやすかった	2 おおむねわかりやすかった	3 どちらでもない	4 ややわかりにくかった	5 わかりにくかった	* 未記入
問4 - 2	10	29	9	3	0	2

問4 - 3 説明者の説明内容はわかりやすかったですか。

	1 わかりやすかった	2 おおむねわかりやすかった	3 どちらでもない	4 ややわかりにくかった	5 わかりにくかった	* 未記入
問4 - 3	5	34	9	4	1	0

問5 後半に行った会場出席者間の意見交換についておたずねします。

問5 - 1 司会者の進行は適切でしたか。

	1 適切だった	2 おおむね適切だった	3 どちらでもない	4 あまり適切ではなかった	5 適切ではなかった	* 未記入
問5 - 1	8	27	8	6	0	4

問5 - 2 質問に対する行政からの説明はわかりやすかったですか。

	1 わかりやすかった	2 おおむねわかりやすかった	3 どちらでもない	3 ややわかりにくかった	5 わかりにくかった	* 未記入
問5 - 2	4	16	16	10	4	3

問5 - 3 様々な立場の方がお互いに広く意見交換できていましたか。

	1 できていた	2 おおむねできていた	3 どちらでもない	4 あまりできていなかった	5 できていなかった	* 未記入
問5 - 3	4	20	12	8	3	6

問5 - 4 意見交換の時間は十分でしたか。

	1 長かった	2 やや長かった	3 ちょうど良かった	4 やや短かった	5 短かった	* 未記入
問5 - 4	1	8	20	17	3	4

問5 - 5 発言者の声はよく聞こえましたか。

	1 聞こえた	2 おおむね聞こえた	3 あまり聞こえなかった	4 聞こえなかった	* 未記入
問5 - 6	23	24	3	0	3

問6 意見交換会を開催したことを評価しますか。

	1 評価する	2 おおむね評価する	3 どちらでもない	4 あまり評価しない	5 評価しない	* 未記入
問6	17	18	11	2	1	4

問7 日頃からご関心の高いものについて、3つまでご回答ください。

	1 残留農薬	2 食品添加物	3 動物用抗菌 性物質(いわ ゆる抗生物質 等)	4 環境からの 汚染物質(カド ミウム、メチル 水銀、ダイオ キシン類等)	5 天然毒素 (カビ毒等)	6 加工中に生 成する汚染物 質(アクリルア ミド等)	7 家畜の病気 (BSE、鳥イン フルエンザ等)	8 有害微生物 (病原性大腸 菌、サルモネ ラ菌等)	9 遺伝子組換 え農産物	10 食品表示	11 トレーサビ リティ	12 その他	* 未記入
問7	29	15	10	11	4	1	25	5	14	18	11	1	4
水産、海産物などの安全は、野菜、果物の安全は、畜産物だけではないのでは。													

問8 本日の「食品に関するリスクコミュニケーション(米国産牛肉輸入問題に関する意見交換会)」の感想、その他運営などで、何かお気づきの点や感じたことがございましたらご記入ください。

問8

前もって質問や意見をメモなどでもらって、それを整理して答えてもらう形にすれば、もっと広く意見が出たように思う。

まず、輸入再開ありき 説明不十分 何か割り切れない 終りまでなんと歯切れの悪い会であった 消化不良を起こしている

これまで、数多くのリスクコミュニケーションが開催されたが、そのとき出された意見が議論されたことはなく、反映もされていない。一方的なリスクミは、見直すべきだと思う。

国産牛の生産体制を強化 一般消費者が買いやすい価格で提供できる様に国内体制の問題もあり。食肉は現状の消費量では輸入に頼らざるを得ない。

小売業に従事しており、輸入再開には反対ではありません。ただ、国民(消費者)が望んでいる安全面を100%獲得した上での再開を望みます。禁輸により、全ての畜種の相場が狂い、消費者の負担は大きいと判断します。

リスクコミュニケーションでの活動は管理機関に反映されているのか？

定型的で内容のない回答が多く、あまり評価出来ない。

米国産牛肉輸入反対。

良かったと思う。

政府に対する不信感が全く除けなかった。米輸入肉の安全性について納得できない。

今回の問題は米国産のみで、カナダ産には関係ないので、カナダ産を多く輸入するようにする。

前半の意見交換は、行政側が長かったが、大変よいリスクコミュニケーションであった。いつもこの通りで欲しい。受付の応接親切であった。司会者も運びはよかった。意見発表側に発言時間をオーバーする者が多かった。(事前にマツメて発言するように！)言うべき！
参加者の意見を多く交換出来るようにした方が良い。
出席者の意見に対して、マニュアルに添った回答しなかった。今回のコミュニケーションの意見がほんとうに国民の側から出た真の意見として、政府内で調整しているのか。ただ単に、輸入ありきの事実を実施するための、国民への説明会であるなら、開催はしなくても良いのではないか。今回も反対意見が多いが、これを持って輸入再開を行った場合、開催意義はないと思う。今後、問題が起こった場合、輸入を認めた委員の責任を追及した方がよい。
はじめの講演は不要と思った。きちんと反映されるコミュニケーションであってほしい。
参加者の意見を本当に反映することを願います。
BSEについての説明を冒頭に数分行き、再度認識を共有するとよかったと思う。
多くの人の意見を聞くために、2分の時間制限を設定していることは理解できるが、あまりにも短すぎる。多くの人の意見を聞くのであれば、回数を増やすことも必要ではないか。
BSEリスコミはやればやる程恥をかく。
会場の解りやすい地図をつくるべき。例えば広島県庁の北200メートルとか。6人の前専門委員をやめさせた参考資料(日農新聞でのこと)は政府側に傾いていると思う。6人の意見の記事も同じように出すべきです。(不公平)私は発言したのですが、昨年5月は約250名、11月は160名今回は120名です。アメリカの圧力に屈して、輸入再開のためのパフォーマンスとしか見えない。だから出席者も減っていく。(又、農水省が芝居をやっていると)。初めから輸入ありのための会合では税金のムダ使いです(会場も民間でなく、公道の安い会場がたくさんあるはずです。)

アンケートにご協力いただきまして、大変ありがとうございました。
今回いただいたご意見は、担当者に伝えるとともに、今後の意見交換会の運営に役立てて参りたいと思います。

(問い合わせ先)
農林水産省 消費・安全局消費者情報官付リスクコミュニケーション推進班
TEL. 03 - 3502 - 8111 (内線 3334、3335) / FAX. 03 - 5512 - 2293